【 B 指導・支援 】　6．生活・余暇支援　共通分野

発達障害のある子どもの現在の生活及び将来を見据えた生活を考える上で、生活習慣の形成や日常生活の管理、余暇など、就業面や生活面で一体的かつ総合的な指導・支援をすることが重要である。発達障害のある子どもが日常生活を送る上で求められる力や、余暇時間を主体的に活動するための指導・支援の必要性と学校教育及び福祉サービスにおける具体的な取組について理解する。
＜主な内容＞ ・ＱＯＬの向上 ・生活習慣の形成 ・健康管理 ・金銭管理 ・住居、年金、余暇活動など地域生活や日常生活に関すること
◆研修講座名（例）◆ **「地域や社会でよりよく生きるための指導・支援」（講義 90 分）** ・発達障害のある子どもが、地域の一員として受け入れられ、主体的に社会参加し、つながりを持ちながら共に生きる社会を構築するためには、個々の特性やニーズに合わせた多様な生活の場（安心できる居場所、相談できる場所等）の確保が必要である。そこで、ＱＯＬを向上させるために必要な生活や余暇の支援の在り方について解説する。 ・日常生活や余暇に関する指導・支援の実際について、教育と福祉それぞれの分野における具体的な取組について解説する。
◆到達指標◆（教育関係者・福祉関係者共通） 初級：生活や余暇に関する支援の意義や教育と福祉それぞれの分野の取組について説明できる。 中級：生活や余暇に関する支援の意義や教育と福祉それぞれの分野の取組を踏まえ、必要な取組を実践できる。 上級：生活や余暇に関する支援の意義や教育と福祉それぞれの分野の取組を踏まえ、他機関・他職種と連携を図りながら具体的な支援の方法を提案できる。

参考資料　3，59，60，70，122